

第8号議案

第51回衆議院選挙の対応方針（島根選挙区の対応について）（案）

I. 主旨

第50回の衆議院議員選挙方針をベースに、今後いつ解散総選挙が行われても対応できる準備をしていくため、選挙区候補者について連合島根推薦の確認を行う。

II. 背景

10月10日に公明党が約13年ぶりに連立政権からの離脱表明をして以降、与野党・野党間で連立に向けた協議が行われた結果、自民党と日本維新の会との政策協議によって連立政権樹立の合意がなされた。10月21日に第219臨時国会が開会した。衆参両院本会議の首班指名選挙で、自民党・日本維新の会・改革の会などの投票によって、高市早苗自民党総裁が初の女性首相、総理大臣に指名された。

高市総理は、経済対策に最優先で取り組む姿勢を示しているが、現下の物価高により家計の厳しさが増している中にあって、夏の参議院選挙から3ヶ月間の政治空白が自民党のお家事情にも振り回されてもたらされたことには、極めて遺憾と言わざるを得ない。与野党各党は、今国会において、恒久的かつ実効性ある物価高騰対策を取りまとめ実行に移すべきである。更に、将来世代に対する責任を果たすためにも社会のグランドデザインを明示し、わが国が抱える構造的課題の解決に取り組むべきである。

高市総理は、就任当初の意見表明において解散総選挙の可能性について言及し、その可能性が近い時期には想定していないことを示した。決断と前進の内閣を強調し、経済政策等に取り組むとしている。参議院選挙の結果を受けて、衆参の議員構成と政党勢力はより少数与党となった。今後の国会運営における課題も持ち合わせており、いつ政局の状態となりうるかも不明な状態である。私たちは来るべき総選挙を想定し、今から準備を行う必要がある。連合島根として働くことを軸とする安心社会の実現に向けて、また重点政策の実現に向けて積極的な取り組みを行っていく。

III. 第51回衆議院選挙の対応方針

1. すべての働く者・生活者の立場に立つ政治・政策の実現

連合は、様々な産業・企業、また、様々な雇用形態で働く労働者により構成される組織であり、後者に関して言えば、約700万組合員のうち約140万人が非正規雇用で働く仲間である。全国各地域で、すべての働く者・生活者のくらしに根ざした運動を展開しており、組合員との民主的な討議の末、漸進的ではあっても、現実的かつ建設的に職場や地域の課題解決に取り組んでいる。社会の分断が進んでいると指摘される中、急進的になることなく、包摂性・多様性のある組織として連合が存在していることの意義を、今一度、認識し、発信し、理解を広げていく必要がある。

同時に、そのような連合だからこそ、すべての働く者・生活者の立場に立つ政治・政策を実現できるとの自負を持ち、「当面する国政選挙に臨む連合としてのスタンス」に掲げた「与党を過半数割れに追い込み、今の政治をリセット」するために、立憲民主党・国民民主党・連合が一体となって総力を挙げた取り組みを展開する。

すべての地方連合会はもちろん、構成組織は自らの支援政党にかかりわらず、小選挙区においては連合推薦候補者の当選に全力を尽くす。

2. 連合島根の具体的対応方針

(1) 島根選挙区の対応および予定候補者の推薦について

「島根第1区」については、現職立憲民主党「亀井亞紀子（かめいあきこ）」氏の必勝を期して、連合島根の総力を挙げて闘うこととする。【プロフィール】

「島根第2区」については、前回の第50回衆議院議員選挙総括やその後の活動を総合的に評価し、立憲民主党新人の「大塚聰子（おおつかさとこ）」氏を推薦し、連合島根の総力を挙げて必勝に向けて闘うこととする。【プロフィール】

連合の政治姿勢としては、様々な団体・個人との徹底的な対話を通じて国民の利益、市民の利益を大前提に現実的な判断をするとしており、大塚氏については、その人柄と政治に対する姿勢を評価するとともに、幅広い団体・市民の支持が期待できる人物と考える。大塚氏が「政治方針」「連合島根運動方針」に基づき、「目的と政策・要求の一致」によって政治活動を果たしうる予定候補者であることを確認し、連合島根として対応を図ることとする。

島根第1区、第2区とも、「反自民」の幅広い勢力の結集が図られることが重要であり、連合島根としてもその一翼としての役割を果たす必要がある。また、与党自民党は有権者に対して説明しきれていない課題も持ち合わせている。政権選択選挙における与党勢力の拡大により働く者の政策実現が図られる結果を導きたい。島根県の代表を選ぶ選挙戦において県民の信を問うべき機会ともなることから投票率の向上や選挙戦全体の盛り上げに対しても連合として取り組みを強化していく。

(2) 具体的な対応について

第19回定期大会決定以降、適宜以下のとおり取り組みを進めることとする。

- ① 連合島根衆議院議員選挙対策委員会を設置する。（構成は執行委員会）
- ② 各構成組織においては速やかに機関手続きをおこない闘争体制を整える。
- ③ 島根第1区、第2区の各地協（地区会議）においては「地区選対」の設置を行う。
- ④ 連合島根は各構成組織と連携をはかり、選挙区と中国比例区を含む議席獲得に向けて取り組みを推進する。選挙活動の推進と今次衆議院議員選挙の意義の浸透を図る。
- ⑤ 具体的取り組みは、立憲民主党・選挙対策委員会と連携し、取り組むこととする。

以上

亀井 亜紀子 略歴



氏 名 亀井 亜紀子 (かめい あきこ)

生年月日 1965年5月14日 (60歳)

< 略歴 >

1988年 3月 学習院大学法学部 卒業
1992年 6月 カールトン大学 卒業 (マスコミュニケーション専攻)

2007年 8月から 参議院議員
2013年 7月 (2010年9月～2012年4月まで国民新党政調会長)

2017年10月から 第48回衆議院議員総選挙
島根1区：次点
中国ブロック比例代表：当選
立憲民主党 国際局長

2018年 2月から 立憲民主党島根県連合代表

2020年10月から 立憲民主党島根県総支部連合会代表 (～現在)

2021年10月 第49回衆議院議員総選挙
島根1区：次点
中国ブロック比例代表：次点

2024年 4月 衆議院島根県第1区選出議員補欠選挙：当選

2024年10月 第50回衆議院議員総選挙
島根1区：当選

立憲民主党島根県第2区総支部長

大塚さとこ プロフィール



1967年生まれ 満58歳

【出身地】東京都杉並区

【現住所】島根県出雲市

【家族】夫・こども2人の4人家族

●学歴

1989年 明治学院大学 社会学部社会学科 卒業

2014年 日本福祉教育専門学校 社会福祉士養成学科 卒業

2015年 日本福祉教育専門学校 精神保健福祉士養成

短期通信課程 卒業

2021年 神奈川県立保健福祉大学大学院 保健福祉学研究科

保健福祉学専攻 博士前期課程 修了

●主な職歴等

2018年4月から現在まで 東京リーガルマインド 福祉支援本部福祉研修課講師

【担当科目】

①放課後児童支援員認定資格研修講師

②放課後児童支援員資質向上研修講師

③子育て支援員研修講師

2021年4月から2022年3月まで 鹿児島県鹿屋市立鹿屋小学校 特別支援学級担任

2023年4月から2024年3月まで 横浜市教育委員会 スクールソーシャルワーカー

2024年4月から2024年9月まで 出雲市教育支援センター 主任指導員

●選挙歴

2024年10月 第50回衆議院議員総選挙 島根2区:次点

【2区総支部事務所】

〒693-0025 島根県出雲市塩冶町南町3丁目1番地4 ブレジオ104

Tel 0853(31)4205 fax 0853(31)4335 e-mail info@otsukasatoko.com